

国士舘大学大学院入学試験問題用紙

博士課程

研究科	専攻	試験科目	参考書等持込
政治学研究科	政治学専攻	国際関係	不可(留学生のみ語学辞書可)

【設問】アレクサンダー・ウェントの「アナーキーは国家が作るものである (Anarchy is what states make of it)」という命題について論じなさい。

令和8年度 国士舘大学大学院入学試験

出題の意図と採点のポイント

研究科名	政治学研究科 政治学専攻
試験期別	Ⅲ期
試験区分	一般、社会人、留学生、学内選考
試験科目名	国際関係(博士課程)

■出題の意図

本問の意図は、国際関係研究における理論をどの程度理解し、それをパラダイム議論の中にどう位置づけるかなどについて考える能力を問うことにあります。具体的には、「構造」の概念を物理的なものからいかにして間主観的な社会的実践へと解体したか、あるいは国際秩序の変容可能性をアイデンティティや規範から抽出することができるかなどについて論述させることを目的に出題します。

■採点のポイント

ウェントが提示した命題への理解、アナーキーを間主観的な意味の体系と捉える視点とその議論、物質的決定論から社会的構成主義への存在論的転換の再評価、ポスト構造主義的視点による国家という分析単位そのものへの疑義、国家のアイデンティティをめぐる言説実践などを通じて事後的に構築されるという認識論などに関する論述をもとに、国際関係研究における理論及びその概念をどの程度理解しているか、それに基づき理論的な考察をどの程度おこなうことができるか、今日的な課題への問題意識を含めて、その理解の程度を採点のポイントとします。